

平成30年2月27日

同日配布

奈良県政・経済記者クラブ
筑波研究学園都市記者会

奈良県森林技術センター 森林資源課：河合・今治
電話 0744-52-2380 FAX 0744-52-4400
奈良県農林部林業振興課 総務企画係：山下・迫田
電話 0742-27-7471 FAX 0742-24-5004
(内線 3945,3944)

森林総合研究所 きのこ・森林微生物研究領域：山中
森林総合研究所 広報普及科広報係
電話 029-829-8372 FAX 029-873-0844

報道資料

「マツタケ近縁種の人工栽培に成功！」

奈良県森林技術センターでは、平成27年度から国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所と共同で「高級菌根性きのこの栽培技術」の研究をしてきました。奈良県の役割分担として、マツタケ近縁種で正式名称「バカマツタケ」の人工栽培技術の開発に取り組んできたところ、全国で初めて、人工的に林内でバカマツタケ菌を増殖させ子実体（きのこ）の発生に成功しました。（平成30年1月19日特許出願）今後、栽培技術を確立して、県内の「きのこ生産者」に技術を普及していきたいと考えております。

きのこの種類：バカマツタケ（正式和名）

（吉野郡等では「サマツ」又は「ハマツ」と呼ばれる）

松林にでるマツタケと異なり広葉樹の根に菌根を形成する。

見た目はマツタケとほぼ同じで、マツタケよりも香りが強く、食味も同等の食用きのこ。



販売されているバカマツタケ



発生したバカマツタケ